中学校 × 理科

理科どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。

変わる所 3項目　解説PDF 1件



10秒でいうと

「科学とは何か」や研究倫理を学ぶ「科学ガイダンス（仮称）」を新設する案

中学校の理科は、「科学ガイダンス」を新しく設ける方向です。科学とは何か、理科の全体像、研究倫理などを学ぶ内容です。内容は小中高共通の4分野（物理・化学・生物・地学）で整理する方向です。新しい見方・考え方には、社会の言説も科学の目で批判的に考えることが入る案です。SNSでデマが広がる時代への対応とされています。

どこが変わる？現行⇔次期（中学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

見方・考え方

現行

「（身近な）自然の事物・現象」を「科学的な視点」で捉え、比較したり関係付けたりする方法で考える（小は問題解決、中高は科学的に探究する方法）。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「**自然や社会の事象・言説**」を「**自然科学的な視点**」から捉え、観察・実験の結果や科学的知見に基づいて客観的・論理的・批判的に考える、と小中高で統一する案。

P183　P185　※新旧の文言は資料編m3 P2（理②）

学習内容の分け方

現行

中学校は第１分野・第２分野、
内容は「エネルギー」「粒子」
「生命」「地球」の4領域で
整理されている。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

小・中・高共通で**4つの「分野」（物理・化学・生物・地学）**に
分け、各分野をさらに3つ程度の
「**区分**」にする方向。4領域で
育てていた中心の考えは「統合的な
理解・総合的な発揮」で
表す考え方。

P186 ※再編の図は資料編m3 P21（理⑫）

「科学と人間生活」の学び方

現行

物理・化学・生物・地学に関する
各項目で、それぞれ2つのうち1つを
選んで学ぶ。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

両方を学ぶことも可能にすることが
適当とされた（その場合は
4単位程度＝8新単位）。内容も
中学校とのつながりと身近さを
重視して見直す方向。

P188 ※内容構成の新旧は資料編m3 P25（理⑮）

現行の解説を読む（公式PDF）

いまの中学校の理科の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **理科編**
中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編

学習指導要領の本文

PDF **中学校学習指導要領（平成29年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

中学校の理科の指導案（試案）



中 理科 1年

身の回りの物質とその性質

本時のねらい 3種類の白い粉の正体を見分けるために、これまでに学んだ物質の性質の調べ方を組み合わせて検証計画を立てて実験し、結果を根拠にして結…

指導案を見る →

もっとくわしく

理科の変更点（くわしく） 新旧比較（全校種） 中学校の先生へ
資料室（中学校のほかの教科）

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。P○ は本体PDFのページ、資料P○ は資料編のページ（クリックで

該当ページが開きます）。